

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確報値）

（令和5年1月12日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	282,414	78.8%	過去 1 番目
ハクチョウ類	18,303	5.1%	過去 3 番目
カモ類	57,572	16.1%	過去 10 番目
計	358,289	100.0%	過去 1 番目

※1月調査は昭和44年度から実施しており、今年度は54回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和5年1月12日	282,414	18,303	57,572	358,289
令和4年1月13日	187,189	16,241	53,768	257,198
増減	95,225	2,062	3,804	101,091

3 主な確認地

(1) ガン類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
蕪栗沼	(大崎市)	175,855 羽	112,573 羽
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	80,718 羽	52,130 羽
化女沼	(大崎市)	17,987 羽	15,751 羽

(2) ハクチョウ類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
直沢大溜池	(大和町)	1,275 羽	0 羽
大沼	(仙台市)	1,118 羽	367 羽
旧北上川天王橋	(石巻市)	895 羽	302 羽

(3) カモ類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
旧北上川天王橋	(石巻市)	5,430 羽	4,120 羽
旧北上川神取橋下流	(石巻市)	4,440 羽	780 羽
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	4,411 羽	2,586 羽

4 調査箇所数

県内のガン，ハクチョウ，カモ等の飛来地524か所

5 調査人員

県職員，県自然保護員，蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等 106人

6 その他

本調査の内容については，宮城県自然保護課ホームページで確認できます。
 HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>
 今後の調査予定日は令和5年3月2日（木）です

7 飛来状況

今回，日本海側の積雪を避けて移動していた群れによって全体数が増加したと考えられる。ハクチョウ類のうち，県内で最も多くのオオハクチョウが記録される伊豆沼・内沼では，羽数が急減した。昨夏の増水によって伊豆沼・内沼のハスがほぼ全滅し，食物となるレンコンがなくなったため，県内各地に分散したと考えられる。